

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8-1-①: 大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。

【観点到る状況】

大学設置基準に定められている校地、校舎の基準面積に対する状況は、別紙様式「大学現況票」に示すとおり、基準を満たしている。

各学部・研究科の教育研究に必要とされる施設・設備として、大学設置基準に規定されている「運動場、体育館、研究室、講義室、演習室、実験・実習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設」の整備状況は、別紙「大学現況票」に示すとおりであり、授業等の内容、受講生数等に応じて活用している。

情報処理学習のための施設としては、情報メディア教育研究センターを中心として3キャンパスに700台を超えるパソコンを整備している。また、語学学習のための施設としては、外国語教育研究センターを中心としてマルチメディア外国語自習室やオンライン教材(オンライン学習システム:別添資料8-1-①-1)を提供している。それぞれの施設の整備状況及び利用状況は資料8-1-①-Aに示すとおりである。(それぞれのセンターの概要は、学生生活の手引 別添資料7-1-①-3 P21-24 参照)

また、夜間において授業を実施している法学部、経済学部及び社会科学部研究科では、資料8-1-①-Bに示すとおり、学生の利便性に配慮している。

さらに、施設・設備のバリアフリー化について、別添資料8-1-①-2に示すとおり、平成16年度に「広島大学施設のユニバーサルデザイン化ガイドライン」を策定し、障害学生を含めた全利用者が円滑に施設・設備を利用できるよう、バリアフリー化や身障者用駐車場の設営・整備など、資料8-1-①-Cに示すとおり整備している。

なお、学生の課外活動施設については、前述の観点7-2-②に記述のとおり、キャンパス毎に施設を整備している。

「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート—」、「大学院学生生活アンケート」の結果では、資料8-1-①-D及びEに示すとおり、教室等の施設の充実度や教育機材の充実度に85%以上が満足している状況である。

資料8-1-①-A 情報処理学習及び語学学習のための施設の状況

区分	主なセンター	整備状況	利用状況
情報処理学習	情報メディア教育研究センター	前掲資料7-2-①-A 情報端末室 参照	前掲資料7-2-①-E 教育用情報処理端末室 参照
語学学習	外国語教育研究センター	前掲資料7-2-①-A マルチメディア外国語自習室 参照	前掲資料7-2-①-E マルチメディア外国語自習室 参照

(出典: 大学での集計)

資料8-1-①-B 各施設の夜間開放状況

部局名	キャンパス	施設名	利用可能時間
法学部, 経済学部, 社会科学部研究科	東千田	体育館	平日 8:45 ~ 22:15
			土日祝 13:00 ~ 19:00
		講義室	授業期間 8:45 ~ 22:15
			授業期間外 9:00 ~ 22:00
		演習室	授業期間 8:45 ~ 22:15
			授業期間外 9:00 ~ 22:00

部局名	キャンパス	施設名	利用可能時間
		情報処理学習施設	8:30 ~ 22:00

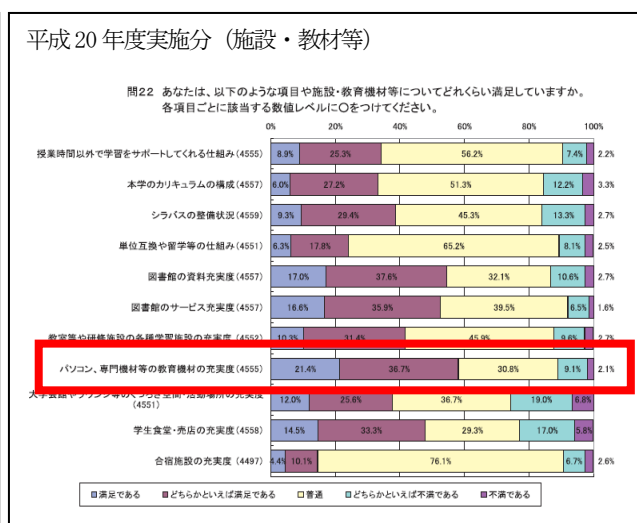
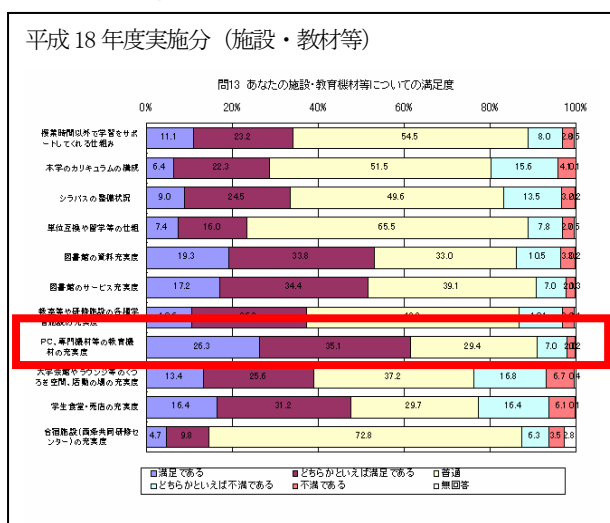
(出典：学生便覧)

資料8-1-①-C 年度別整備状況

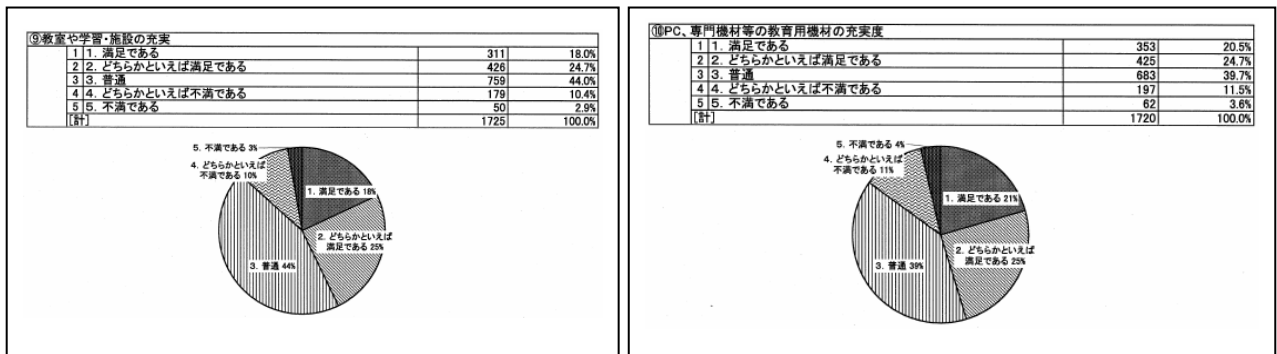
年度	整備状況				
平成17年度	国際交流会館（留学生宿舎）	車いす対応	スロープ設置		
			入り口ドア改修		
			風呂場の改修		
平成18年度	工学部	車いす対応	身障者用トイレ改修		
			講義室、実験室の改修		
平成19年度	西2大学生協ショップ	車いす対応	自動ドアの設置		
			構内歩道塗装補修	視覚障害者学生用に学内点字ブロックを整備	
			経済学部	身障者用駐車場の整備	
平成20年度	北1大学生協ショップ	車いす対応	自動ドアの設置		
			附属幼稚園	玄関前スロープの設置	
			東千田総合校舎A	計算機室扉の取替（ドアを引戸に取替）	
			西第2福利会館	自動ドアの設置	
			福山中・高校舎A	多目的トイレの設置	
			翠小学校校舎	車いす対応	エレベーターの設置
				車いす対応	エレベーターの設置
			東福利会館	車いす対応	多目的トイレの設置
				車いす対応	玄関前スロープの設置
			文学部研究棟	身障者用駐車場の整備	雨よけ屋根の設置

(出典：大学での集計)

資料8-1-①-D 「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート—」結果



資料8-1-①-E 「大学院学生生活アンケート」の結果



- 参照資料 : 別紙様式 大学現況票
- 別添資料 8-1-①-1 オンライン学習システム
 - 別添資料 8-1-①-2 広島大学施設のユニバーサルデザイン化ガイドライン
 - 別添資料 6-1-③-1 広島大学学生生活実態調査の概要報告書
 - 別添資料 6-1-③-2 平成 20 年度学生生活実態調査報告書
 - 別添資料 6-1-③-3 平成 19 年度広島大学大学院学生生活アンケート集計結果
 - 別添資料 7-1-①-3 学生生活の手引

【分析結果とその根拠理由】

大学設置基準に規定されている、校地、校舎、各学部・研究科の教育研究に必要とされる施設・設備の基準は満たしている。

夜間に授業を実施している学部・研究科では、土日、祝日においても施設を開放するなど、学生の利便性に配慮している。

施設・設備のバリアフリー化について、「広島大学施設のユニバーサルデザイン化ガイドライン」に基づき、障害学生を含めた全利用者が円滑に施設・設備を利用できるよう配慮している。

これらの教室等や教育機材の充実度について、学生へのアンケートの結果では、85%以上が満足している状況である。

以上により、大学において編成した教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備を整備し、有効に活用しており、また、施設・設備のバリアフリー化に配慮している。

観点 8-1-②： 大学において編成された教育課程の遂行に必要な ICT 環境が整備され、有効に活用されているか。

【観点に係る状況】

本学では、教育・研究・社会連携を支える情報通信基盤整備への取組として資料 8-1-②-A に示すとおり「広島大学における情報基盤整備に関する基本方針（平成 18 年 2 月）」を定め、この方針に基づき、資料 8-1-②-B のとおり取り組んでおり、教職員・学生向けに無線 LAN 用のルーターや情報コンセントを設置し、容易に学内ネットワークに接続できるようにしている。

情報ネットワークの活用を促進するために、情報メディア教育研究センターにおいて、授業等で利用するパソコンやホスト計算機、メールシステム等の利用環境を提供している。

各 ICT 環境の整備状況は、資料 8-1-②-C に示すとおりであり、利用状況は前掲資料 7-2-①-E（教育用情報処理端末室，オープンスペース，マルチメディア外国語自習室）に示すとおりである。

また、学内外の情報セキュリティの管理は、広島大学情報セキュリティに関する規則及び広島大学情報セキュリティポリシーに従い実施し、個人情報管理については、広島大学個人情報の取扱いに関する規則に基づき管理している（別添資料 8-1-②-1～3）。

これらの取組について、「学生生活実態調査－学習と学生生活アンケート」、「大学院学生生活アンケート」の結果では、資料 8-1-②-D 及び E に示すとおり、情報化への対応について、80%以上が満足している状況である。

資料 8-1-②-A 広島大学における情報基盤整備に関する基本方針（平成 18 年 2 月）

1. 広島大学の長期ビジョン（平成 15 年 1 月）にしたがって、大学の重要な施策として、以下の事項を中心に情報通信基盤の整備を進める。
 - * 高度な情報ネットワークサービスを安定的に提供するために、現行の HINET2001 に代る新たなキャンパスネットワークを構築する。
 - * 新ネットワークでは、情報セキュリティの強化とネットワーク管理者の負荷軽減を実現する。
 - * 教育のメディア化に対応した講義室の設備，キャンパス内外での情報アクセス環境，教材コンテンツおよびその作成支援体制，の充実を図る。
 - * 充実した教育・学生生活支援機能を備えた，新たな学生情報システムを開発する。
 - * システム運用の安定化，システム運用経費の大幅な削減，システム開発にかかる財政支出の平準化，等のために，業務系情報システムを統合基幹業務システム（ERP）として再構築する。
2. 情報担当副学長（CIO）の下で全学的な情報政策の企画・立案・実施を一元的に推進する。CIO は最高情報セキュリティ責任者として、情報セキュリティポリシーに従った情報セキュリティの維持を図る。
3. システム運用の効率化や情報化コストの縮減を図るために、法人化のメリットを活用して、大学全体としての戦略的視点に立った情報化を計画的に進める。
4. 機関リポジトリを中心とした学術情報の発信環境を整備する。

※ 本学ウェブページ：<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/jyoho-ka/kihon/index.html>（出典：本学ウェブページ）

資料 8-1-②-B 広島大学における情報基盤整備に関する基本方針への対応状況

基本方針	対応状況
1. 広島大学の長期ビジョン（平成 15 年 1 月）にしたがって、大学の重要な施策として、以下の事項を中心に情報通信基盤の整備を進める。 * 高度な情報ネットワークサービスを安定的に提供するために、現行の HINET2001 に代る新たなキャンパスネットワークを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> * HINET2007 の導入 * 広帯域なインターネット接続，他研究機関との相互接続のための SINET3 との接続 * SuperCSI への接続 * 地域 IP 網とフレッツサービスの活用 * 自宅や外出先からの利用
* 新ネットワークでは、情報セキュリティの強化とネットワーク管理者の負荷軽減を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> * 新ネットワークでは、サブネット管理から個別ホスト管理に仕様を変更し、IP アドレス管理等のサブネット管理業務の大半を情報メディア教育研究センターへ一元化を行ったことで、情報セキュリティの強化とネットワーク管理者の負荷軽減を実現 * 学外からのインターネット経由でアクセス可能なシステムの増に伴う全学電子認証システムの導入 * 情報セキュリティポリシーの策定 * 各種講習会の毎年開催
* 教育のメディア化に対応した講義室の設備，キャンパス内外での情報アクセス環境，教材コンテンツおよびその作成支援体制，の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> * 無線 LAN アクセスポイントの増 * WebCT の作成 * 広島大学講義アーカイブズ館として、映像ライブラリー，復習用 L I V E 教科書，Flip BOOK の作成
* 充実した教育・学生生活支援機能を備えた，新たな学生	* 平成 21 年 6 月から活用を目指した学生情報システムの

基本方針	対応状況
情報システムを開発する。	構築
* システム運用の安定化, システム運用経費の大幅な削減, システム開発にかかる財政支出の平準化, 等のために, 業務系情報システムを統合基幹業務システム (ERP) として再構築する。	* ERP 化の検討及び推進
2. 情報担当副学長 (CIO) の下で全学的な情報政策の企画・立案・実施を一元的に推進する。CIO は最高情報セキュリティ責任者として, 情報セキュリティポリシーに従った情報セキュリティの維持を図る。	* 情報セキュリティポリシーに基づく, 毎年の自己点検・評価の実施 * ウィルス対策 * セキュリティ教育
3. システム運用の効率化や情報化コストの縮減を図るために, 法人化のメリットを活用して, 大学全体としての戦略的視点に立った情報化を計画的に進める。	* 教育用情報端末整備計画の策定
4. 機関リポジトリを中心とした学術情報の発信環境を整備する。	* 学術情報リポジトリの整備・推進

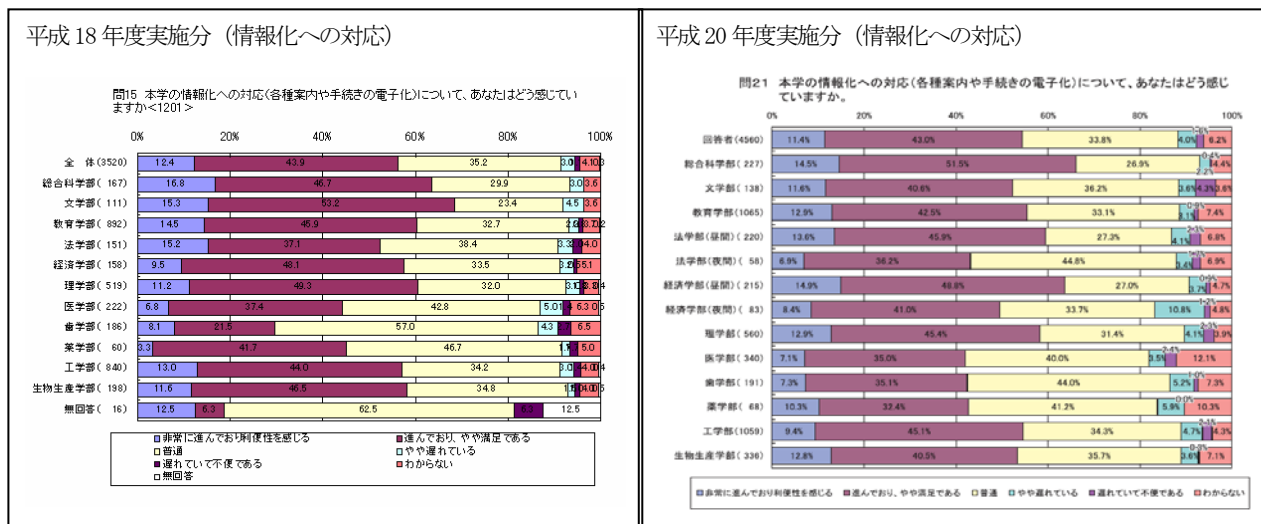
(出典: 大学での集計)

資料8-1-②-C ICT 環境の整備状況

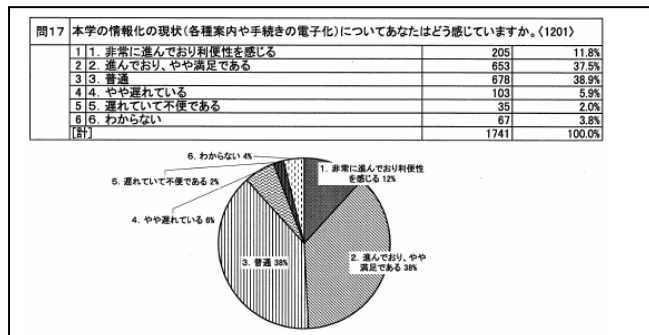
事 項		概 要
情報ネットワーク	学内 LAN	HINET2007 の導入
	無線 LAN	前掲資料 7-2-①-D 参照
授業内外で学生が利用可能なパソコン台数・利用時間		前掲資料 7-2-①-A (情報端末室, マルチメディア外国語自習室) 参照
教育コンテンツ	CMS (WebCT)	学生側から見ると, インターネットに接続した PC さえあれば, 「いつでも・どこでも・何度でも」授業の予習・復習に利用できる。 教員側から見れば, 学生が小テストを受験したかどうか, レポートを提出したかどうかといったことだけでなく, 学生の理解度がデータベースを介して把握できる。 アンケート機能で得た結果を, 授業改善につなげることもできる。 本学では, 世界でも著名な CMS のひとつ「WebCT」(ウェブ・シー・ティー) を平成 13 年度から利用してきた。 教室では, 教育情報化の一環として, 平成 17 年度にメディアコンテンツ 100 科目の作成を目指す「WebCT100 プロジェクト」を実施した。
	* 「CMS」とは, Course Management System の略称 授業の設計, 開発, 管理等を行うコース管理システム (教員と学生が各コースの中でのやりとりを残すことにより, 授業のホームページを作りあげていく仕組み)	http://webct.riise.hiroshima-u.ac.jp/webct/public/home.pl
ウェブ情報のアーカイブ化	広島大学講義アーカイブズ館	映像ライブラリー: 広島大学情報メディア教育研究センターは, 特に映像データ等を全学の知的資産として共有するため「広島大学映像ライブラリー」として, 下記の映像データを学内に Web 経由で開示するサービスを行っている。(学内限定) ・センターで蓄積したアーカイブ映像 ・学内から持ち込まれた各種の映像
		復習用 LIVE 教科書: 「学問との出会い」のビデオを視聴する時間を節約するために講義ビデオを構造化してどこからでも観て読めるような Web コンテンツに交換したもの。ユニバーサルデザインになっており, 拡大字幕や中国語字幕つき。 講義の復習に見たいところだけ視聴できるので効率的。 Flip Book: 講義を本で読みたいという人のために, ライブ教科書を本の様式にしたもの。画面上で本を読む感覚でかつ講義をライブで受けている気にする絵本。 http://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~live/

(出典: 大学での集計)

資料8-1-②-D 「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート」結果



資料8-1-②-E 「大学院学生生活アンケート」の結果



- 参照資料 : *別添資料8-1-②-1 広島大学情報セキュリティに関する規則
 別添資料8-1-②-2 広島大学情報セキュリティポリシー
 *別添資料8-1-②-3 広島大学個人情報の取扱いに関する規則
 別添資料6-1-③-1 広島大学学生生活実態調査の概要報告書
 別添資料6-1-③-2 平成20年度学生生活実態調査報告書
 別添資料6-1-③-3 平成19年度広島大学大学院学生生活アンケート集計結果

* 別添資料8-1-②-1, 3については、広島大学公式ウェブサイト「広島大学規則集」を参照してください。
 (<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~houki/reiki/aggregate/catalog/index.htm>)

【分析結果とその根拠理由】

教育・研究・社会連携を支える情報通信基盤整備への取組として「広島大学における情報基盤整備に関する基本方針」を定め、この方針に基づき、各種情報基盤整備を進めており、例えば、教職員・学生が容易に学内ネットワークに接続できるように無線LANの整備を行っている。また、情報ネットワークの活用を促進するために、情報メディア教育研究センターにおいて、授業等で利用するパソコンやホスト計算機、メールシステム等の利用環境を提供し、有効に活用されている。

情報セキュリティ管理や個人情報管理については、それぞれ規則等を制定し、この規則に基づき管理している。これらの取組について、学生アンケートの結果では、80%以上が満足している状況である。

以上により、大学において編成した教育課程の遂行に必要なICT環境を整備し、有効に活用している。

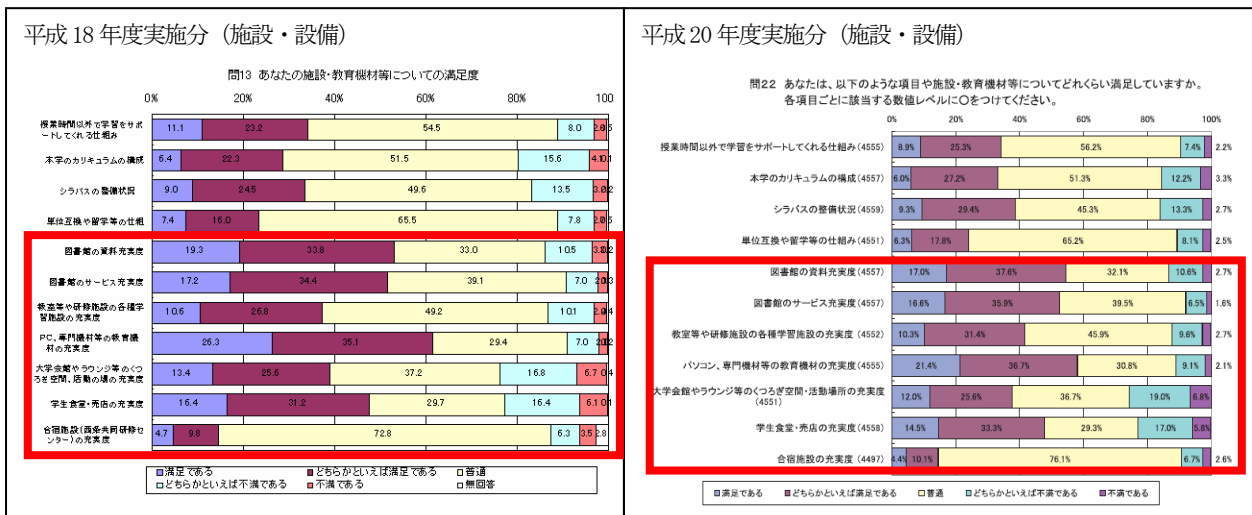
観点 8-1-③： 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、大学の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

【観点に係る状況】

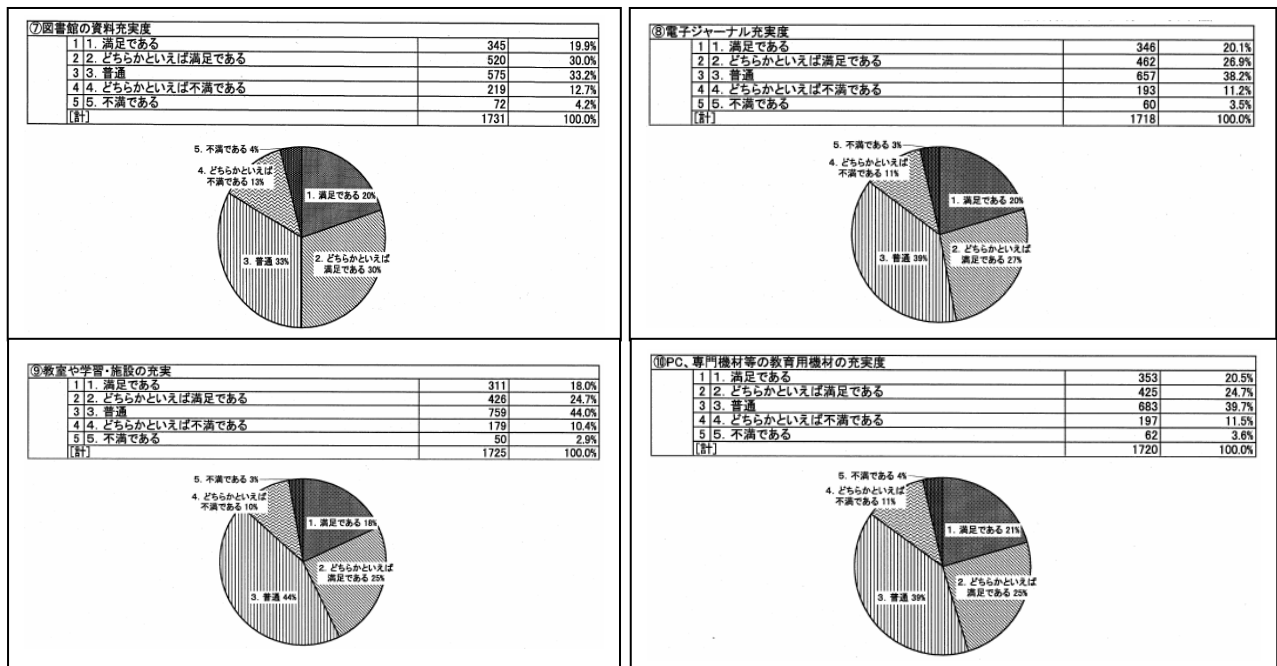
各施設・設備については、運用方針や利用規則を明確に定め、学生については「学生便覧」や「学生生活の手引」に記載し、新入生ガイダンス等で説明している。教職員については、本学ウェブページの「広島大学規則集 (<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~houki/reiki/aggregate/catalog/index.htm>)」で周知しているとともに、変更があった場合には、全学情報基盤システム（いろは）（学内限定）に変更した旨通知し、周知を図っている。教員には、「学生便覧」も配布している。

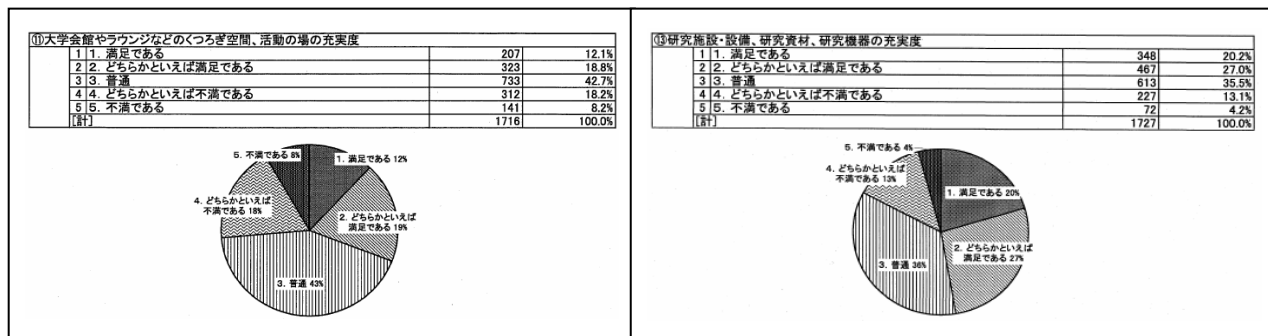
施設・設備の利用に関して、「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート」、 「大学院学生生活アンケート」の結果では、資料 8-1-③-A 及び B に示すとおり、75%以上が満足している状況である。

資料 8-1-③-A 「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート」結果



資料 8-1-③-B 「大学院学生生活アンケート」の結果





- 参照資料 : 別添資料 8-1-③-1 規則変更通知 (例)
 別添資料 学生便覧
 別添資料 6-1-③-1 広島大学学生生活実態調査の概要報告書
 別添資料 6-1-③-2 平成 20 年度学生生活実態調査報告書
 別添資料 6-1-③-3 平成 19 年度広島大学大学院学生生活アンケート集計結果
 別添資料 7-1-①-3 学生生活の手引

【分析結果とその根拠理由】

各施設・設備については、運用方針や利用規則を明確に定め、学生については「学生便覧」や「学生生活の手引」に記載し、新入生ガイダンス等で説明している。教職員については、ウェブページ掲載等により周知を図っている。教員には、「学生便覧」も配布している。

施設・設備の利用に関して、学生アンケートの結果では、75%以上が満足している状況である。

以上により、施設・設備の運用に関する方針を明確に規定し、構成員に周知している。

観点 8-2-①: 図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

【観点に係る状況】

図書館については、資料 8-2-①-A のとおり中央図書館をはじめ 3 キャンパスに 5 館を配置し、資料の整備及び利用サービスを進めている。

図書館資料は、教員が教育研究上必要な資料を選定するほか、図書館に全学経費から「教育用図書購入費」及び「電子ジャーナル等経費」を配分し、蔵書構築を進めている。図書館では、図書館資料収書基本方針及び資料選定会議細則等に基づき、図書館資料選定会議、同専門部会、収書事務委員会を設置し、別添資料 8-2-①-1～6 の基本方針に基づき、全学共同利用の電子ジャーナル・データベース、大学院学生・学部学生用のシラバス掲載図書・学生用図書・教養図書、コースリザーブ・サービス、学生選書グループによる選書、学生リクエスト及び寄贈資料の受入等、系統的に多様な資料を選定し、収集、整理を進めている。また、平成 18 年度、広島大学学術情報リポジトリを開設し、学内研究成果等の公開・保存体制を整備した (資料 8-2-①-B, C)。

図書館の利用は、資料 8-2-①-D の統計に示すとおり、高い水準で推移している。本期間においては、研究室等から Web 経由で利用できる電子資料が急速に拡大し、従来からの書籍閲覧、貸出等の来館と合わせて、資料整備とその利用のハイブリッド化が進行している。また、学生等に対する図書館ガイダンス、展示会、貴重資料の電子化等の公開事業も活発に展開し、資料の幅広い活用を努めている。

図書館、図書資料等の利用に対するニーズ把握のため、学生を含めた利用者を対象として図書館利用者アンケ

ートを実施し、対応可能なところから対応しており、主な改善事項としては、図書館開館時間の延長、学生選書試行実施、今後改善事項として、館内情報端末の増設、グループ利用環境の整備等を計画している（別添資料8-2-①-7）。

図書館、図書資料等の利用に関して、「学生生活実態調査－学習と学生生活アンケート－」、「大学院学生生活アンケート」の結果では、資料8-2-①-E及びFに示すとおり、80%以上が満足している状況である。

資料8-2-①-A 図書館整備状況

キャンパス名	図書館名	竣工年	施設面積(m ²)	蔵書数(千冊)	閲覧座席数(席)	主な分野
東広島	中央図書館	1995	16,462	2,150	1,047	人文社会自然全般
	東図書館	1982	3,442	352	277	自然科学
	西図書館	1993	6,335	583	406	学習資料
霞	霞図書館	1981	2,382	207	248	生命科学
東千田	東千田図書館	2000	486	32	82	社会科学

(出典：大学での集計)

資料8-2-①-B 選書方法

事 項	選 書 内 容
図書館資料選定会議	<ul style="list-style-type: none"> 全学共同利用資料に関する収書計画の策定 部局等における資料整備に関する購入指針の策定 収書方針及び予算の審議決定
専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料選定会議の収書方針に基づく資料選定機関 各学部学生及び大学院学生用の学習・研究用資料の選定
収書事務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料選定会議の収書方針に基づく資料選定機関 教養・前期教育学生用資料の選定
コースリザーブ・サービス	<ul style="list-style-type: none"> 教員が担当する授業科目に関連して受講学生が教科書以外に履修上必読すべきとして選定した資料をコースリザーブ資料として図書館に配置
学生選書グループ	<ul style="list-style-type: none"> 収書事務委員会の下に学生で構成する学生選書グループを設置し、学生用図書の一部を選定
学生からのリクエスト	<ul style="list-style-type: none"> 学生からの購入リクエストは、図書館カウンターで随時受付し、収書事務委員会で選定
寄贈資料	<ul style="list-style-type: none"> 寄贈資料受入基準に基づき受入の可否を収書事務委員会で決定

(出典：大学での集計)

資料8-2-①-C 図書館整備状況

事 項			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
運営体制	専任職員(人)	総数	38	37	37	36
		うち司書資格者数	30	28	29	29
	臨時職員(人)	総数	19	18	18	19
		うち司書資格者数	12	11	12	14
蔵書	蔵書数(冊)	和書	1,939,398	1,970,883	2,003,210	2,016,501
		洋書	1,299,562	1,310,519	1,321,789	1,308,388
	学術雑誌タイトル数	国内雑誌	31,319	32,128	33,016	30,678
		外国雑誌	24,467	25,127	24,482	22,043
	視聴覚資料		3,025	3,210	3,359	3,889
機関リポジトリ登録コンテンツ数		6,923	9,413	14,513	17,668	
資料受入	蔵書数(冊)	和書	28,126	32,143	32,505	34,598
		洋書	12,564	11,359	12,136	10,689
	学術雑誌タイトル数	国内雑誌	7,730	7,529	7,619	7,590
		外国雑誌	2,609	2,282	2,390	4,568
	電子ジャーナル利用可能タイトル数		13,323	13,510	16,900	17,642

事 項		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
資料 購入 費	全学経費 (千円)	教育用図書購入費	125,976	127,065	125,159	124,496
		電子ジャーナル等経費	243,519	253,712	257,000	270,589
	部局経費 (千円)	249,996	255,825	286,564	258,164	
	外部資金 (千円)	66,476	72,883	74,235	64,418	

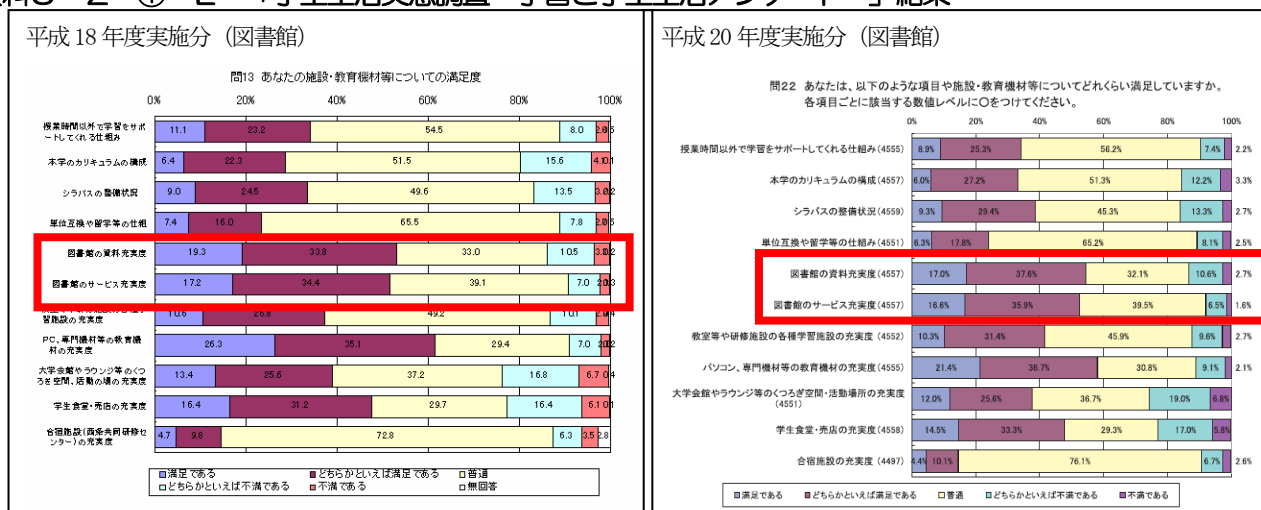
(出典：大学情報データベースより)

資料8-2-①-D 図書館利用状況

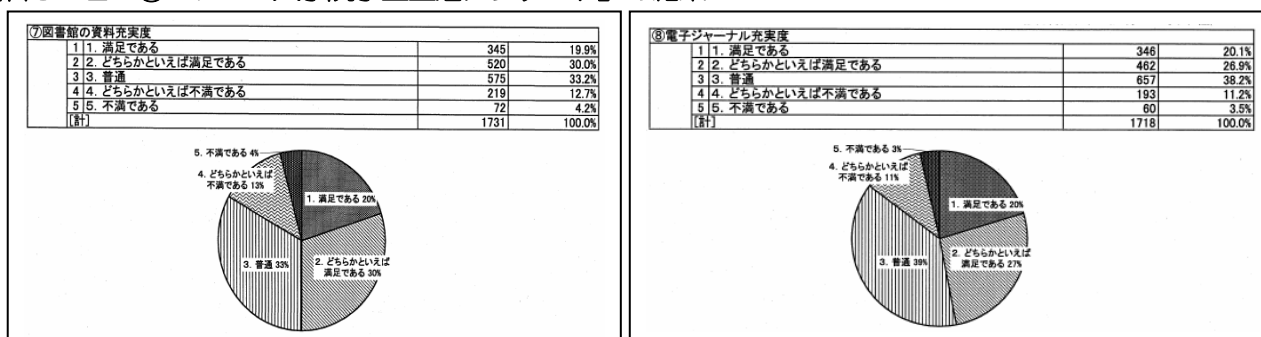
事 項		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
開館状況 (中央図書館)	開館日数	295	292	288	300
	開館時間数	3,010	3,116	3,076	3,374
入館者数		1,076,891	1,246,308	1,126,498	1,199,021
貸出冊数		189,820	177,607	178,084	182,899
電子ジャーナルアクセス数		522,537	531,548	555,217	639,219
リポジトリアクセス数				123,897	337,141
図書館ガイダンス受講人数		5,689	5,555	6,145	5,852
公開事業入場者数			1,858	6,976	13,258

(出典：大学での集計)

資料8-2-①-E 「学生生活実態調査—学習と学生生活アンケート」結果



資料8-2-①-F 「大学院学生生活アンケート」の結果



- 参照資料 : 別添資料8-2-①-1 広島大学図書館資料収書基本方針
 別添資料8-2-①-2 図書館資料選定会議運営要領
 *別添資料8-2-①-3 広島大学図書館資料選定会議細則
 別添資料8-2-①-4 広島大学図書館コースリザーブ制度内規
 別添資料8-2-①-5 学生選書グループによる選書について

別添資料 8-2-①-6	広島大学図書館寄贈資料受入基準
別添資料 8-2-①-7	図書館利用者アンケート報告書
別添資料 6-1-③-1	広島大学学生生活実態調査の概要報告書
別添資料 6-1-③-2	平成 20 年度学生生活実態調査報告書
別添資料 6-1-③-3	平成 19 年度広島大学大学院学生生活アンケート集計結果

* 別添資料 8-2-①-3 については、広島大学公式ウェブサイト「広島大学規則集」を参照してください。
(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~houki/reiki/aggregate/catalog/index.htm>)

【分析結果とその根拠理由】

図書館は、3 キャンパスに適切に配置され、着実に学術資料の整備及び利用サービスを進めている。

資料整備に関しては、従前からの「教育用図書購入費」に加え、平成16年度から図書館に「電子ジャーナル等経費」を全学経費により配分し、全学の学術情報基盤のための財源を確保するとともに、図書館の選書体制・基本方針を整備した。これにより、多様な資料を計画的・系統的に選定・収集する体制が整い、資料整備が進展している。

図書館の利用に関しては、電子ジャーナルの利用が急速に増大するほか、機関リポジトリ構築公開、貴重資料の電子化公開、文献複写や参考質問のWeb経由の受付開始など、資料と利用の両面でハイブリッド化を進め、利便性は大きく向上している。また、図書館ガイダンスは着実に実施されており、展示会、貴重資料の電子化等の公開事業も含めて、資料が幅広く活用されている。

また、平成18年度以降、利用者アンケート調査を毎年実施し、ニーズ把握に努め、利用者要望事項の実現、業務サービスの改善に努めている。主な改善事項として、図書館開館時間の延長、学生選書試行実施、今後改善事項として、館内情報端末の増設、グループ利用環境の整備等を計画している。

図書館、図書資料等の利用に関して、学生アンケートの結果では、80%以上が満足している状況である。

以上により、図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- 施設・設備のバリアフリー化について、平成 16 年度に策定した「広島大学施設のエコユニバーサルデザイン化ガイドライン」に基づき、障害学生を含めた全利用者が円滑に施設・設備を利用できるように配慮している。
- 教育課程の遂行に必要な ICT 環境の整備において、教職員・学生が容易に学内ネットワークに接続できるように無線 LAN の整備を行っている。
- 図書館の資料整備に係る財源・選書体制・基本方針を適切に整備し、計画的・系統的な収集を行っており、電子ジャーナル等の高額資料も安定的に提供し、活用されている。
- 図書館利用者アンケートを毎年実施し、業務サービスの改善に着実に取り組んでいる。

【改善を要する点】

- 該当なし

(3) 基準8の自己評価の概要

各学部・研究科の教育研究に必要とされる施設・設備である、運動場、体育館、研究室、講義室、演習室、実験・実習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設を整備するとともに、「広島大学施設のユニバーサルデザイン化ガイドライン」を策定し、施設・設備のバリアフリー化を進め、障害学生を含めた全利用者が円滑に施設・設備を利用できるよう配慮している。また、夜間に授業を実施している学部・研究科では、土日、祝日においても施設を開放するなど、学生の利便性に配慮している。

なお、大学設置基準に規定されている、校地、校舎、各学部・研究科の教育研究に必要とされる施設・設備の基準は満たしている。

教育・研究・社会連携を支える情報通信基盤整備への取組としては、「広島大学における情報基盤整備に関する基本方針」を定め、この方針に基づき、各種情報基盤整備を進めており、例えば、教職員・学生が容易に学内ネットワークに接続できるように無線LANの整備を行っている。また、情報セキュリティ管理や個人情報管理についても、それぞれ規則等を制定し、厳正に管理している。

教育研究に必要とされる施設・設備については、運用方針や利用規則を明確に定め、学生については「学生便覧」や「学生生活の手引」に記載し、新入生ガイダンス等で説明している。教職員については、ウェブページ掲載等により周知を図っている。

図書館は、3キャンパスに適切に配置し、着実に学術資料の整備及び利用サービスを進めている。

資料収集に係る財源・選書体制・基本方針を適切に整備し、計画的・系統的な選定を行い、電子ジャーナル等の高額資料も安定的に提供し、活用されている。書籍と電子資料、来館利用とWeb経由のサービスのいわゆるハイブリッド化が進展し、また、利用者アンケートを毎年実施し、サービスの改善に取り組んでおり、図書館の利便性は着実に向上している。

これらの取組について、学生アンケート調査を実施し、75%以上の満足度が示されている。